

2系統の負荷設定が可能



電子負荷装置

概要

PLZ-W2シリーズは、定電流モード動作、定抵抗モード動作、スイッチング動作が行なえるほか、使用中の過負荷に対して、自動復帰するプロテクタを備えた信頼性の高い電子負荷装置です。

特長

- 小形高性能  
10回転ヘリカルポテンシオメータによる2系統の負荷設定ができ、内蔵の発振器により、負荷電流のスイッチングも簡単にこなします。
- デジタル表示  
オートレンジ3 $\frac{1}{2}$ 桁デジタル電圧電流計1個を備えています。
- 保護装置  
自動復帰形プロテクタは、電力、電圧、電流の過入力を自動的に防止し、過電力および過電圧のプロテクタ動作時には表示ランプが点灯します。

- コンピュータコントロール  
GPIBプログラマ(DPO2212A)を用いて、自動化計測システムが組めます。
- スwitching用発振器内蔵  
スイッチング用の発振器を内蔵し、定電流または定抵抗モードで各々設定された系統の値間を1ms~100msの周期でスイッチングできます。

アプリケーション

- 抵抗器として(抵抗モード)  
最大70W、150Wまでの電力用摺動抵抗器として使用でき、0.13Ω~100Ω(PLZ152W)までの抵抗範囲を持っています。  
負荷スイッチのON/OFFも容易にできます。  
外部から0~5kΩの抵抗でリモートコントロールすることもできます。
- 定電流負荷として(定電流モード)  
電圧に関係なく(定格電圧範囲内にて)電流を吸い込み(シンク動作)一次、二次電池、コンデン

- サ等の放電試験に適します。  
また、外部からの抵抗および電圧によるリモートコントロールができます。
- 動的負荷(ダイナミック・ローディング)として  
内蔵の発振器によりLOAD AとLOAD Bで設定した負荷電流を切り換えるダイナミック試験ができます。この試験は一般に過渡応答特性と呼ばれるもので安定化電源の制御系の特性をチェックする方法で、定電流モードおよび定抵抗モードのどちらでも行えます。

コンピュータ・コントロール

- PIA4800シリーズ及びPIA3200を使用することにより、コントロールすることができます。(詳しくは、PIA4800シリーズ及びPIA3200をご参照下さい。)
- DPO2212Aを使用することにより、コントロールすることができます。(詳しくは、DPO2212Aをご参照下さい。)

仕様

仕様 形名	入力範囲			定電流モード			定抵抗モード	消費電力	質量	タイプ
	最大損失電力 W	電圧 V	電流 A	レンジ A	リップル &ノイズ	立上り/立下り 時間	レンジ Ω	約 VA	約 kg	
PLZ72W	70	4~110	0~12	1.2/12	2mArms	12A/100μs	0.2/2	20	3	I
PLZ152W	150		0~30	3/30	5mArms	30A/150μs	0.1/1	30	5	II

- 動作モード
    - 1) 定電流:2レンジ連続可変
    - 2) 定抵抗:2レンジ連続可変
    - 3) スwitching(定電流モードにて)内蔵発振器(10Hz~1kHz間)による切換、マニュアルによる切換が可能
  - リモートコントロール
    - 1) 定電流コントロール  
外部抵抗:0~5kΩ  
外部電圧:0~10V
    - 2) 定抵抗コントロール  
外部抵抗:0~5kΩ
  - 並列運転
  - 保護回路
  - 入力端子
  - 指示計  
精度(23℃±5℃)
  - 発振器
  - 入力電圧
  - 周囲温度・湿度
  - 寸法
- ワンコントロール並列運転にて容量増大可能  
自動復帰形  
前面および後面  
最大1999 電流/電圧計切換  
電流計:±(0.5%rdg+0.1%f.s+1digit)  
電圧計:±(0.1%rdg+0.1%f.s+1digit)  
周期:1ms~10ms/10ms~100ms 2レンジ  
AC100V±10%、50/60Hz  
0~+40℃、10~90%RH  
タイプ I :65(75)W×140(155)H×298(345)Dmm  
タイプ II :138(145)W×140(165)H×348(405)Dmm  
( )は最大部